

PROGRAM

信州大学交響楽団

指揮：小室 直樹
コンサートマスター：今井 聡慎

ジョルジュ・ビゼー／「カルメン組曲」より
闘牛士（第1幕への前奏曲より）
前奏曲（第1幕への前奏曲より）
アラゴネーズ（第4幕への間奏曲）
ハバネラ
セギディーリャ
アルカラの竜騎兵（第2幕への間奏曲）
闘牛士の歌
ジプシーの踊り

信州大学教育学部附属松本小学校合唱部

指揮：葭本 直樹
ピアノ：葭本 千津

COSMOS
作詞・作曲：ミマス
編曲：富澤 裕
ここからいちばんとおいところ
作詞：覚 和歌子
作曲：千住 明
せかいのふしぎ
作詞：片岡 輝
作曲：太田 桜子

信州大学教育学部附属松本中学校3学年

指揮：根橋 卓朗
ピアノ：三浦 菜月

生きる
作詞：谷川俊太郎
作曲：新実 徳英
オラトリオ「天地創造」より
“天は神の栄光を語り”
作曲：ヨセフ・ハイドン

ソプラノ 池田 京子（信州大学教育学部教授）

ピアノ 寺田 智子

歌の翼に
作曲：F.メンデルスゾーン
早春賦
作詞：吉丸 一昌
作曲：中田 章
あざみの歌
作詞：横井 弘
作曲：八洲 秀章
ゴンドラの唄
作詞：吉井 勇
作曲：中山 晋平
オペラ「トスカ」より
“歌に生き、愛に生き”
作曲：G. プッチーニ
オペレッタ「チャールダッシュの女王」より
“山こそ我がふるさと”
作曲：E. カールマン



信州大学創立 60 周年記念コンサート

ANNIVERSARY
CONCERT

P R O G R A M

2009 6.6^(土) 14:00 開演

長野県松本文化会館
大ホール



信州大学創立 60 周年記念コンサート

ANNIVERSARY CONCERT

出演者プロフィール
PROFILE



信州大学交響楽団

私たち信州大学交響楽団は、信州大学を活動拠点とする学生オーケストラ団体です。1960年に結成され、現在では100人規模の大きなオーケストラとなりました。途中、音楽音声合同練習室の焼失などの事件もありましたが、多くの方々のお力により再建され、現在も非常に恵まれた環境で練習を行っています。これからも様々な団体と協力し合い、地域に根ざし、皆様に愛されるオーケストラを目指して、より良い演奏をお届けできるよう日々努力邁進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



信州大学教育学部附属松本小学校合唱部

歌が大好きな子どもたち40名が集まり、本年度の合唱部が出発しました。NHK学校音楽コンクールに向けて、毎朝、そして、休日練習にがんばっています。

指揮者の葎本直樹は、本学の合唱部の指揮をして4年目。平成18年度には、長野県代表として、関東甲信越大会に合唱部を率いて出場。伴奏の葎本千津は、ビックジャズバンドのピアニスト、プロのシャンソン歌手の専属ピアニストとして活躍している。



ソプラノ 池田 京子

東京藝大学卒業、同大学院修了。文化庁オペラ研修所を修了後、ドイツ政府奨学生として留学。ルートヴィクスブルク国際音楽祭、サヴォンリンナ国際オペラフェスティバル等に招聘され、高く評価された。帰国後は「NHK・FMリサイタル」「題名のない音楽会」等の放送をはじめ、清里音楽祭、文化庁芸術祭、「愛・地球博」等に出演。第九やミサ曲のソリストとして、ベルリン交響楽団、日本フィルハーモニー等、国内外のオーケストラと共演を重ねている。CD「花の歌」をリリース。平成17年度文化庁芸術家海外派遣研修員。

現在、東京二期会会員、武蔵野音楽大学講師、信州大学教授。



信州大学教育学部附属松本中学校 3 学年

「生きる」は、私たちが初めてア・カペラ四部合唱に挑戦した曲です。教育学部におられた益地先生に教えていただきながら歌詞の意味を考えたり、歌詞のない部分をどう表現したらいいか考え、パートごとの重なりを意識して歌ったりしました。私たちが考える「生きる」という言葉の意味を音にしています。

「天は神の栄光を語り」は、附属中の3年生が三十数年にわたって歌い継いできた伝統のある曲です。私たちも今回のステージに向けて、何度もパート練習を重ね、ドイツ語の歌詞の発音や音の伸ばし方を細かく練習し、楽しく、自信を持って歌えるようになりました。私たちの学年合唱の、これまでの集大成として、精一杯歌いたいと思います。



ピアノ 寺田 智子

東京芸術大学卒業、同大学院修了。ミラノ・ヴェルディ国立音楽院卒業。読売新人音楽賞受賞。吹田音楽コンクール第1位、プレミオ・レンダーノピアノコンクール第1位など、国内外での数多くのコンクールに上位入賞。ミラノ・ローマ・東京・名古屋などでのリサイタルのほか、さまざまな演奏活動を行っている。小諸高校音楽科講師。



司会 蔵田 玲子

長野朝日放送アナウンサー
信州大学経済学部卒